

内服のための説明書

内服の意義

□針刺しなどでH I V汚染血液に曝露された場合の感染リスクは、0.5～0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100～1/10と低い感染リスクが0ではありません。

□今のところ感染が成立してしまった場合、治療できるような治療法は確立されていません。

□感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。



内服に当たっての注意点

□妊娠の有無を確認しました。

この薬剤は、妊娠初期の胎児に対する安全性は確立されていません。

妊婦の場合、責任医師のいる病院に大至急受診し、服薬について相談してください。

□予防内服される抗H I V薬

| 薬剤名 | ツルバダ（略名：TDF/FTC） | アイセントレス（略名：RAL） |
|------|--|---|
| 剤型 |  |  |
| 飲み方 | ① ツルバダ 1錠、アイセントレス 1錠 ② アイセントレス 1錠 1日2回（食事の影響なし） 1回目は①をできるだけ早く内服する。 12時間後に②を内服する。 | |
| 保存方法 | 室温保存 | |
| 副作用 | 1 腹部膨満感、放屁が起こることがあります。服用していく過程で軽減することが多いといわれています。 2 腎機能障害が起こることがあります。長期服用時に起こることがありますが、中止することにより回復します。短期服用の場合は、心配ありません。腎機能障害のある方の内服時は、専門医師にご相談ください。 | 吐き気、頭痛が起こることがあります。服用していく過程で軽減することが多いといわれています。 |
| 注意点 | 併用注意薬もありますので他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を責任医師に見せてください。また、他院に行くときもこの薬を内服していることを伝えてください。 | |